



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社ミダックホールディングス 上場取引所 東 名
コード番号 6564 URL <https://www.midac.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 恵子
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高田 廣明 TEL 053-488-7173
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,194	10.9	1,355	7.9	1,322	8.0	753	2.9
2023年3月期第2四半期	3,783	24.0	1,256	9.0	1,224	8.2	732	14.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 753百万円 (2.9%) 2023年3月期第2四半期 732百万円 (14.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	27.29	27.29
2023年3月期第2四半期	26.59	26.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	25,322	11,622	45.8
2023年3月期	21,607	10,983	50.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 11,598百万円 2023年3月期 10,965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	8.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正につきましては、本日（2023年11月14日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,454	8.8	3,013	9.4	2,875	6.8	1,731	2.7	62.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社 （社名）遠州砕石株式会社、株式会社フレンドサニタリー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	27,773,500株	2023年3月期	27,773,500株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	115,116株	2023年3月期	170,001株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	27,621,145株	2023年3月期2Q	27,560,130株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症における感染症法上の分類移行を受け、経済活動の正常化に向けて緩やかな回復の兆しが見られました。一方で、長期化するロシア・ウクライナ情勢による資源価格の高騰や円安方向への大幅な為替変動の影響など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは既存事業の収益力強化を進めるとともに、成長基盤強化を加速するための積極的なM&A投資を推進してまいりました。

その結果、2023年7月には、砕石製造業を主業とする遠州砕石株式会社を、そして9月には、し尿収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業を営む株式会社フレンドサニタリーを子会社化しました。遠州砕石株式会社では、砕石製造業と並行してグループ内で排出される残土管理を内製化していくことで、施設開発コストの削減やガバナンスの強化を進めてまいります。また、株式会社フレンドサニタリーにおいては、一般廃棄物収集運搬事業を手掛け、社会インフラとして公衆衛生の維持に貢献すると同時に、当社グループの業容の拡大及び収益力の向上に寄与するものと考えております。なお、遠州砕石株式会社及び株式会社フレンドサニタリーは、当第2四半期連結会計期間末日（2023年9月30日）をみなし取得日としているため、当第2四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しております。

また、循環型社会の構築と地球環境の保全を目指すことを目的とし、当社はヤマダホールディングスと戦略的共創パートナーシップの関係を構築するとともに、国内における資源循環型インフラ事業への成長投資を積極化させるため、合弁会社「株式会社グリーン・サーキュラー・ファクトリー」を設立しました。本合弁会社においては、環境対応技術の開発や低炭素・循環型社会の実現に向け、より最適な成長投資を行い、循環型経済圏の構築と利益の最大化を目指してまいります。

なお、足元の事業状況としては、2027年3月期までの第1次中期経営計画に基づき、オーガニックグロースの実践、特に管理型最終処分場「奥山の杜クリーンセンター」における廃棄物受託量の確保に努めてまいりました。加えて、原材料等の高騰に伴う処理費用の上昇に対しては、引き続き価格転嫁を推し進め、収益力の強化を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,194百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益は1,355百万円（同7.9%増）、経常利益は1,322百万円（同8.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は753百万円（同2.9%増）と増収増益を確保し、第2四半期の売上高、各利益において過去最高を更新しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 廃棄物処分事業

最終処分場を運営する連結子会社の株式会社ミダックにおいて、管理型最終処分場「奥山の杜クリーンセンター」における受け入れ枠の拡大によって、建設業界との大型の取引を中心に廃棄物受託量は大きく増加しました。以上の結果、売上高は3,762百万円（同11.6%増）となり、セグメント利益は1,961百万円（同18.7%増）となりました。

② 収集運搬事業

産業廃棄物においては、豪雨等の突発的な案件にも対応するなどして受託量の増加に努めましたが、一部取引を仲介管理事業へ切替えたことや大口案件の減少等もあり、受託量は前期よりも減少しました。一般廃棄物においては、新型コロナウイルス感染症における感染症法上の分類移行を受け、飲食店等から排出される一般廃棄物の回収量は増加傾向にあるほか、新規開拓にも注力した結果、受託量は前期よりも増加しました。以上の結果、売上高は373百万円（同5.9%増）となり、セグメント利益は48百万円（同42.7%増）となりました。

③ 仲介管理事業

大型工事案件等によって、協力会社への仲介が安定的に推移しました。以上の結果、売上高は58百万円（同0.3%増）となり、セグメント利益は39百万円（同16.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は8,712百万円となり、前連結会計年度末に比べ878百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加額818百万円等によるものであります。

また、固定資産は16,610百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,836百万円増加しました。これは主に、土地等有形固定資産の増加額1,120百万円、のれん等無形固定資産の増加額408百万円等によるものであります。

この結果、総資産は、25,322百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,715百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は6,260百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,330百万円増加

しました。これは主に、短期借入金の増加額2,800百万円等によるものであります。

また、固定負債は7,440百万円となり、前連結会計年度末に比べ746百万円増加しました。これは主に、役員退職慰労引当金の増加額758百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、13,700百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,077百万円増加しました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は11,622百万円となり、前連結会計年度末に比べ638百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益753百万円を計上したこと等による利益剰余金の増加額615百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日付の「2023年3月期 決算短信」にて公表しました連結業績予想から修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,540,406	7,358,746
受取手形及び売掛金	968,534	1,074,159
棚卸資産	92,548	76,557
その他	233,865	204,665
貸倒引当金	△1,384	△1,720
流動資産合計	7,833,970	8,712,408
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,070,317	1,100,703
機械装置及び運搬具（純額）	604,867	669,501
最終処分場（純額）	5,175,517	5,003,989
土地	2,851,551	3,940,148
建設仮勘定	1,898,153	2,005,411
その他（純額）	73,625	75,115
有形固定資産合計	11,674,033	12,794,870
無形固定資産		
のれん	934,520	1,354,658
施設設置権	120,300	100,250
その他	33,405	41,805
無形固定資産合計	1,088,225	1,496,714
投資その他の資産		
繰延税金資産	280,499	422,880
その他	730,834	1,896,037
投資その他の資産合計	1,011,334	2,318,917
固定資産合計	13,773,592	16,610,502
資産合計	21,607,562	25,322,910

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	52,449	35,272
短期借入金	1,290,000	4,090,000
1年内償還予定の社債	16,000	9,000
1年内返済予定の長期借入金	994,657	1,000,659
未払法人税等	489,389	362,972
未払金	525,731	278,857
賞与引当金	98,582	117,030
その他	462,891	366,860
流動負債合計	3,929,701	6,260,653
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	5,528,913	5,396,882
繰延税金負債	—	85,772
退職給付に係る負債	—	1,497
役員退職慰労引当金	—	758,000
最終処分場維持管理引当金	795,238	832,722
資産除去債務	112,505	112,521
その他	57,306	52,718
固定負債合計	6,693,963	7,440,115
負債合計	10,623,664	13,700,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	4,934,175	4,901,991
利益剰余金	6,093,745	6,709,555
自己株式	△152,190	△103,199
株主資本合計	10,965,730	11,598,347
新株予約権	18,167	23,794
純資産合計	10,983,897	11,622,142
負債純資産合計	21,607,562	25,322,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,783,248	4,194,902
売上原価	1,583,492	1,682,960
売上総利益	2,199,755	2,511,942
販売費及び一般管理費	943,256	1,156,577
営業利益	1,256,499	1,355,364
営業外収益		
受取利息	73	900
固定資産売却益	3,974	1,634
不動産賃貸料	6,058	7,387
その他	5,939	2,910
営業外収益合計	16,045	12,832
営業外費用		
支払利息	41,093	38,236
その他	6,997	7,330
営業外費用合計	48,091	45,566
経常利益	1,224,453	1,322,630
税金等調整前四半期純利益	1,224,453	1,322,630
法人税等	491,761	568,803
四半期純利益	732,691	753,827
親会社株主に帰属する四半期純利益	732,691	753,827

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	732,691	753,827
四半期包括利益	732,691	753,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	732,691	753,827

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,224,453	1,322,630
減価償却費	291,709	313,928
のれん償却額	120,473	120,473
株式報酬費用	24,874	29,438
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△246	△326
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,993	1,569
最終処分場維持管理引当金の増減額(△は減少)	46,082	37,484
受取利息及び受取配当金	△81	△908
支払利息	41,093	38,236
固定資産売却損益(△は益)	△3,974	311
売上債権の増減額(△は増加)	△120,650	△4,809
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,573	30,709
その他の流動資産の増減額(△は増加)	15,819	57,089
仕入債務の増減額(△は減少)	△28,304	△17,177
未収還付消費税の増減額(△は増加)	234,876	—
その他の流動負債の増減額(△は減少)	134,042	△186,729
その他	3,288	574
小計	1,986,874	1,742,497
利息及び配当金の受取額	81	908
利息の支払額	△40,585	△39,933
法人税等の支払額	△611,744	△800,123
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,334,625	903,348
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,433,767	△887,761
有形固定資産の売却による収入	16,622	43,336
無形固定資産の取得による支出	△22,346	△4,962
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,875,671
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△55,000	—
関係会社株式の取得による支出	—	△43,797
敷金及び保証金の差入による支出	△119	△344
その他	△5,541	366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,500,151	△2,768,834
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,093,500	2,800,000
長期借入れによる収入	4,100,000	360,000
長期借入金の返済による支出	△309,942	△501,634
社債の償還による支出	△14,000	△7,000
自己株式の取得による支出	△137,064	△454
配当金の支払額	△137,864	△138,017
その他	△5,145	△5,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	402,483	2,507,686
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	236,958	642,200
現金及び現金同等物の期首残高	5,894,217	6,540,406
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,131,175	7,182,606

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
現金及び預金勘定	6,131,175千円	7,358,746千円
預入期間が3か月を超える定期預金	—	△176,139
現金及び現金同等物	6,131,175	7,182,606

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2023年6月29日開催の取締役会決議に基づき、2023年7月28日に当社の取締役に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式49,305株を処分いたしました。2023年8月30日開催の取締役会決議に基づき、2023年9月22日に当社の子会社取締役に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式5,850株を処分いたしました。その結果、単元未満株式の買取りによる増加を含め、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が32,184千円、自己株式が48,991千円減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における資本剰余金が4,901,991千円、自己株式が103,199千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	3,371,887	352,677	58,683	3,783,248	-	3,783,248
外部顧客への売上高	3,371,887	352,677	58,683	3,783,248	-	3,783,248
セグメント間の内部売上 高又は振替高	96,412	4,849	4,485	105,747	△105,747	-
計	3,468,299	357,527	63,168	3,888,995	△105,747	3,783,248
セグメント利益	1,651,816	34,146	33,630	1,719,592	△463,093	1,256,499

(注) 1. セグメント利益の調整額△463,093千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	3,762,483	373,531	58,887	4,194,902	-	4,194,902
外部顧客への売上高	3,762,483	373,531	58,887	4,194,902	-	4,194,902
セグメント間の内部売上 高又は振替高	175,656	4,599	6,531	186,786	△186,786	-
計	3,938,139	378,130	65,419	4,381,689	△186,786	4,194,902
セグメント利益	1,961,033	48,717	39,133	2,048,885	△693,520	1,355,364

(注) 1. セグメント利益の調整額△693,520千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。